

*In this seminar, you can concentrate in a day to learn about urgent problem.*

1日で集中して焦眉の課題を学ぶことのできる集中セミナー

## 京都学習協の集中セミナー

《テーマと講師》

### 労働者支配のイデオロギーとは...

講師は 田辺 崇博 労働者教育協会常任理事

日時：8月3日(日) 午後1時～5時  
会場：京都学習会館(第1会議室)  
受講料：3000円(消費税込み)



京都学習協のホームページ

「京都学習情報」

www2.odn.ne.jp/k-horimaru/  
労働学校などの学習情報が掲載されています。また、月曜日から金曜日の5日間、連日「学習通信」が更新されちょっと深く学ぶことができます。この7月には、「真理を求めることば」を新設しました。すでにアクセスは二万件を超えています。

申込先は.....  
京都労働者学習協議会

〒602-8147  
京都市上京区堀川丸太町西一筋目上ル  
『京都学習会館』内  
電話(075)841-8141  
FAX(075)821-366

## 京都学習協の集中セミナー 募集要項

申し込みは、このテーマを学びたいと思う方は誰でも参加できます。

申し込みの手続きは、簡単です。

「申込書」に必要事項を記入し、受講料をそえて申し込んでください。

講義時間は、午後1時～5時(休憩も含まれます)

受講料は、3,000円です。(税込み)

各コースの会場は、『京都学習会館』(上京区堀川丸太町西一筋目上ル)です。

電話(075)841-8141

FAX(075)821-3665

二・四輪共に駐車場はありません。二条城市営駐車場へお願いします。

地下鉄丸太町駅・二条城前駅から『京都学習会館』まで歩いて10分以内です。



京都学習協の集中セミナー 申込み日時 年 月 日

フリガナ 性別 年齢

氏名： 男・女 才

現住所：

職場・学園：

労働組合名： (全国単産名： )

電話：職場( ) 自宅( )

そもそも支配のイデオロギー攻撃とは何か、その現代の特徴、とりわけ「新自由主義」とは何か、「公務員」攻撃のねらいは何かを……

田辺 崇博さんからよびかけ

テレビなどマスコミから流される膨大な情報、インターネットでもとれるさまざまな情報……。私たちは日々膨大な情報に接していますが、よく判断すると、「国も自治体も財政赤字」「企業の競争力が落ちる」「既得権打破（公務員攻撃、労働組合攻撃）」「自己責任」「北朝鮮や中国が脅威」などの大きな柱の考え方が流されていることに気づきます。労働や生活で疲れ切り、ものを考えるのもめんどくさくなり、なんとなく情報に接しているとき、いつのまにか私たちの中に入り込んでくるのは、こんな考え方ではないでしょうか。

財界の総本山である日本経団連

は、41の政策委員会、8の地域委員会、8の特別委員会、合計57の機構をもっており、そのメンバーが政府の諮問委員会や審議会に参加し、主に政府を支配する、いわば管制高地を握るやり方です。もうひとつ見逃せない動きは、「政策分析ネットワーク」が1999年に竹中平蔵氏を初代代表につくられ、シンクタンク、マスコミ、大学、民間企業などの、各界の政策研究者と政策実務者の横の全国的ネットワークづくりがすすめられていることです。これは、大学、研究機関、企業などの実務者も視野に入れ、いわば草の根的にイデオログをつくる動きで、企業や自治体のなかにも参加する

人がうまれていきます。

こうした形で財界や大企業の意に添った政策がつけられ、それをささえるイデオロギーが大規模にながされているわけです。

とりわけ1990年代中葉から本格化したアメリカ発の「新自由主義」の攻撃は、労働法制の改悪と雇用破壊、社会保障の切り捨てと自立・自助、企業の競争力強化を理由にした大企業減税と企業関連の法改悪など、大企業の利益を優先させるために、搾取強化を図り、敵対的競争を教育まで含めて社会全体に広げる攻撃です。政府や自治体の公的責任、企業の社会的責任がなれば放棄され、「自己責任」論が強調されました。そして、「貧困と格差」が急速に広がり、敵対的競争がひろがり連帯が破壊されました。

「新自由主義」の攻撃との闘いは、私たちの始めての経験ですから、率直にいつて戸惑いもあり、運動の後退もありました。しかし、い

ま「後期高齢者医療」やワーキングプワールなど「貧困と格差」の広がりにストツプをかけるたたかいが全国各地で前進し、「蟹工船」が若い層を中心に読まれ、「資本主義の限界」や「アメリカをまねた経済政策でいいのか」、などマスコミでも根本的な議論がされるようになっています。支配のイデオロギー攻撃の興味期限切れが早くなっています。同時に、「国のかたち」を変え、「究極の構造改革」へむけて、「公務員」敵論の攻撃はますます強まっています。

何かをこの講座でみなさんと一緒に考えたいと思います。たたかいをさらに前進させるためにはこのことが必要だと思えます。そして支配のイデオロギー批判を通じて、科学的社会主義の基礎的理論に確信をもち、新たなたたかいに踏み出したいと思えます。

できるだけ多くの職場や地域のみなさんにも声をかけてください。

こうした時期だけに、そもそも支配のイデオロギー攻撃とは何か、その現代の特徴、とりわけ「新自由主義」とは何か、「公務員」攻撃のねらいは



当日の講義の柱(現在検討されています)

午後1時00分～2時10分

第1講義……現段階を明らかに

労働者支配のイデオロギーの今日の特徴

午後2時20分～3時30分

第2講義……そもそも論を学ぶ

イデオロギーの階級性とはなにか

午後3時40分～4時40分

第3講義……イデオロギー支配をはね返すために

労働者運動におけるイデオロギー闘争

3つの柱は、講師に依頼したものです。現在検討されています。当日は変更になる場合があります